


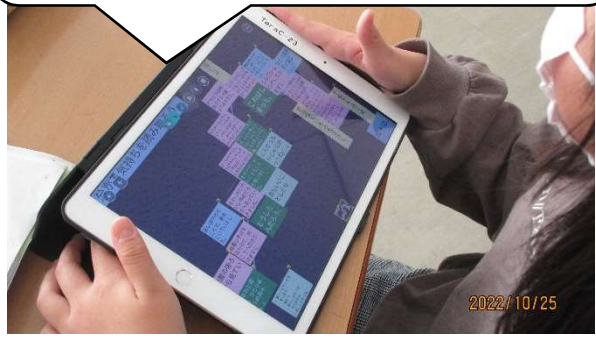


<日付> 10月25日 (水)		<学級> 4年1組	
教科・単元名		国語「ごんぎつね」	
実践の概要			
<p>学習活動（5）②「各場面のごんと兵十の気持ちや情景のえがかれ方を読み取る」</p> <p>三の場面について、ごん（ピンク色）と兵十（水色）の行動やごんの気持ち（緑色）時を表す言葉（黄色）が書かれたカードを並べ替え、プロット図に整理した。それぞれが考えたプロット図をもとに、班でカードの順番を話し合い、全体で確認をした。その後、ごんの気持ちについて班で考え黄緑色のカードに書き、全体で共有した。</p>			
子供の姿			
<p>班のメンバーそれぞれが考えたプロット図を見て比べている。</p>		<p>あれ。ここの、時を表すカードが違うぞ。</p>	
			
<p>班で話し合い、どこに時を表す言葉が入るか確認した。正しい位置にカードを動かした後他に違うところがないか、さらに比較している。</p>		<p>いわし屋に兵十がなぐられたことを知ったときのごんの気持ちを考え、「こんなつもりじゃなかったのに…」と書いている。</p>	
			
感想	P	<p>一の場面、二の場面と、同じように進めてきた学習活動のため、子供たちはカードの並べ替えや班で確認する話し合いにかかる時間が減った。また、班のメンバーのプロット図を比較して違いに気づき正しい順序に直したり、他にも違うところがないか確認したりしていた。ごんの行動を一つ一つ確認することができるため、ごんの気持ちの変化をより詳しく考えることができた。</p>	
	I	<ul style="list-style-type: none"> ・プロット図を使って場面ごとに登場人物の行動や気持ちを整理したこと ・ごんの気持ちを想像し、黄緑色のカードに書いたこと 	
まとめ			
<p>一の場面の時よりも、互いの考えを比較して違いに気付くことや考えをまとめることが上手になった。ごんの気持ちについて、直接的に書かれていない部分も、ごんの行動から想像して書くことができた。</p>			